

会議録

会議の名称	西東京市公民館運営審議会 平成26年度第2回定例会会議記録
開催日時	平成26年5月21日(水曜日) 午後6時30分から8時30分
開催場所	田無公民館 第二学習室
出席者	委員：渡辺文子、野間春二、瀬川容子、馬場真由美、真鍋五十鈴、畠山昭裕、西原みどり、糸山時子、中曽根聡、小林克彦、上田幸夫、新藤浩伸 職員：田中館長、小笠原分館長、石川分館長、長谷部分館長、平井分館長、鴨志田分館長、水野伸江、伊佐英夫、神田園子（オブザーバー）
欠席者	大野雅生、武司一郎
議題	1 第1回定例会の記録について 2 報告事項 行政報告 公民館だより編集室報告 都公連総会報告 3 事業計画書・事業報告書について 4 事務連絡及び情報交換
会議資料の名称	資料1 西東京市公民館運営審議会平成26年度第2回定例会次第 資料2 西東京市公民館運営審議会平成26年度第1回定例会会議録 資料3 西東京市公民館だより編集基準 資料4 西東京市生涯学習推進指針（平成26年度～平成35年度）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
傍聴者	有り 無し

会議内容

<p>議題1 第1回定例会の記録について 訂正事項なし</p> <p>議題2 報告事項 行政報告 ○事務局： ・3月20日付で総務部長から各課長宛てに、消費税改正に伴い鉄道・バスの旅費金額に関する文書が配布された。 ・5月19日付で、柳沢公民館川口氏が職場復帰した。</p> <p>公民館だより編集室会議報告 ○事務局： ・別紙報告書どおり ・西東京市公民館だより編集基準の説明</p> <p>都公連委員部会報告 ○事務局： ・26年度の都公連委員部会会長市は、福生市。副会長市は狛江市。福生市の公民館で毎月1回第3もしくは第4水曜日の午後開催。 ・今後の予定。7月に委員研修会を開催。内容は、委員同士の情報交換の場とする方向で話し合いが進んでいる。11月と2月は、外部講師による研修会を予定している。</p>

(質疑)

○委員：

公民館だよりのPRのあり方の関連で、ホームページの充実も公民館だより紙面と合わせ、両輪でPRしていく必要があると思われる。現代は、これらの相乗効果が期待できると思われる。

○事務局

公民館として今後も努力していきたい。

議題3 事業計画書・報告書について

平成26年度公民館主催事業企画書（11件）平成25年度公民館主催事業報告書（12件）

（事業計画書・報告書）

○委員：

「創作講座 16時間でウォレット作り」「シニア世代のためのSNS講座」「ちいさな展示会」について、担当の分館長は、事前に文書に目を通しているのか。全体として、これらの報告書について、文体を統一することや内容のチェックが必要と思われる。

「創作講座 16時間でウォレット作り」の副次的効果の文の主旨がわかりにくい。感想文になっている。「シニア世代のためのSNS講座」では、目標の達成度の1で、反響を多く感じたとあるが、具体的な記述がない。また、副次的効果についての文も説明になっていない。

「ちいさな展示会」の副次的効果の文で、「ゆるやかな繋がりのお機会となる」の意味をもう少し具体的に説明してほしい。

○事務局：

担当者の報告書の完成が締切間際でたったため、チェックの時間が十分取れず、また指導も甘かったと反省している。今後は指導の徹底を図りたい。

○委員：

3月の実施事業であり、今回の報告書は5月であり、2か月の期間があったようだ。また、報告書で講座のふりかえりがあるからこそ、事業展開が次につながると思う。

○委員：

「子育て中の外国人女性のための日本語講座」この講座は、今年で何年目を迎えているのか。

○事務局：

平成18年度からスタートした事業である。

○委員：

目標達成度からも、この講座は参加者のレベルの差が問題であるようだ。今後は、初心者と上級者に分けるなどの運用が必要と思われる。これが、評価がCとなったことに繋がっているのでは。

○事務局：

3つのグループに分けて運営している。日本語習得の目的がそれぞれ異なるので、レベル別の事業運用になっている。評価がCについては、参加者の目的意識の違いからこのような結果になった。運営についても、文化・習慣から受講者の出席が安定しないこと。また、この事業の主旨がしっかり伝わりきれていないことが、公民館の課題である。

○委員：

参加者の評価欄には、スタッフ感想が多く記載されているが、もっと市民の声をに入れてほしい。

○事務局：

年度途中で帰国する受講者が多く、従来の講座終了時にアンケートをとる方法から、今後は前期、中期、後期とアンケートをとる工夫をしていきたい。

○委員：

また、備考欄に記載があったが、参加人数にスタッフ人数を入れることは理解できない。

○事務局：

この講座は、スタッフが受講者とともに事業を行っている講座であることから、参加人数にスタッフ人数を入れている。

○委員：

「ロビー展示会とロビーワークショップ」備考欄の内容は、不必要ではないかと思った。

○委員：

「ウェブライター講座 自分を発信してみよう」今後の方向性の欄に、「適当なものがあれば」との文は、まさに適当ではないのでは。基準を明確化したほうがよい。

○委員：

「フクシマを忘れない、そして未来の創造を！～いのちのつながりを考える～（協力事業）」事業名に（協力事業）となっているが、その理由は。また、講師の肩書は。

○事務局：

いつでもどこでもをコンセプトに、柳沢公民館の特色としてのロビー機能や視聴覚機能の活用から、ロビー、視聴覚室を活かした事業として、当市民サークルと協力事業とし取り組んだ。
講師の肩書は、この市民サークルの代表は、市の元図書館職員である。

○委員：

「農業を知る講座」農業を通じて、社会問題、環境問題を学んでいることに感心した。

○委員：

「食育講座 ～育メンパパとクッキング～」対象の設定の理由を教えてください。

○事務局：

従来から、親子対象のクッキング講座は、この小学校3年生から6年生で設定している。概ね小学校3年生であれば、友人同士、親とのコミュニケーション力があると判断している。

○委員：

「現代的課題講座 自分らしさを大切に生きるために②つながり合える社会へ～セクシャル・マイノリティと私」レベルの高い、チャレンジした講座だと思うが、対象者を市内在住・在勤・在学者に限ったので、テーマからして参加者が少なくなることが心配。対象を多摩地域全域に広げてもよかったのではないかと。ぜひ、この講座は成功させてほしい。

○事務局：

対象はセクシャル・マイノリティの方々ではなく、むしろそれ以外の人たちに理解してほしい事業である。確かに、企画書の説明文にその主旨が伝わりにくいとの指摘は理解できる。今後は担当者を含め、企画の段階から話し合っていきたいと思う。

○委員：

「第5回ひばりが丘フェスティバル」報告書を読んで、とても良いと思った。特に、副次的効果の実行委員間連携が深まったとのこと、今後も当事業を大切に育てて、支援していただきたい。

○委員:

この報告書の内容では、ものたりない。自身もこの事業に参加しているが、このフェスティバルの大きな特色として、過去から公民館で活動していたサークル、主催事業をきっかけに結成されたサークルを取り込みながら、このフェスティバルを展開、発展させてきた素晴らしい実践経過も記載する必要があるのではと思った。次回からの報告書にはぜひこの経過を報告してほしい。

○事務局:

了解。

○委員:

「世界でひとつのプチ手作り絵本 あなただけの1ページをつくろう」副次的効果欄に、公民館、図書館、美術館の協働的講座運営を試みる契機になれたとのことは、大変評価したい。

○委員

全体の審議を受けての意見、感想であるが、企画書・報告書について、各分館長のチェック以外に、中央館としての柳沢公民館としての文書チェック機能や分館へのサポート機能が十分果たされているのかを確認したい。

○委員

柳沢公民館が各分館長をサポートする体制が必要ではないのか。分館長の負担も多いと思われる。体制のひずみ、無理がでているのではないのか。

○事務局

中央館としての柳沢公民館が分館へのフォローアップ体制については、課題であることは認識している。現在事業係長不在のため、職員課に対しその人員復活要望もしていきたい。

○委員

この企画書・報告書については、事業評価の対象である。この記録がすべてではないと思っている。この審議のやりとりだけでは、不十分ではないかと思う。制度の見直しが必要ではないだろうか。この会議での意見、議論がどのように具体的に生かされていくのか。

○委員

公民館専門員の方に、公民館運営審議会委員の意見が、議事録以外にはどのように伝わっているのか。議事録や分館長を通じての審議のやりとりの伝達だけではなく、各公民館専門員の生の声の意見交換ができれば、これからの関係作りになると思う。

○事務局

6月23日には、公民館専門員研修として、上田幸夫先生を講師に、公民館運営審議会をテーマにお話がある。ぜひ、その機会に活用していただきたい。

委員

昨年から専門員の方々が、テーマ毎に、この審議会に参加してもらい、意見交換の機会ができています。今後も継続していただきたい。

議題4 事務連絡及び情報交換

専門員研修を6月23日の休館日に実施する。テーマ「公運審とはなにか」。上田幸夫先生が講師で行う。委員もぜひ出席してほしい。

(2)公民館事業評価表が今月末に完成見込。次回には、具体的に表を配布して説明を予定している。

(3)谷戸公民館主催「被災体験者が語り継ぐ防災」講座のお知らせ。チラシの配布。6月7日（土曜日）午前10時～正午 出欠の確認

その他

○委員

田無公民館の部屋の特例使用の手始めとしても、1週間の使用予定表頒布で、具体的成果が今後でてくるのではと期待している。今後の公共施設適正配置計画からも、公民館施設の利用者増につながる取り組み等を公民館で取り組んでみてはどうだろうか。

○事務局

分館長会議、6館合同職員会議で話し合っていきたい。

○委員

生涯学習推進指針について説明してほしい。

○事務局

策定経過については、庁内全体の中には充実した個別計画が推進しているため、今回は全体の理念に重点をおいたものとなっている。（社会教育主事回答）

○委員

社会教育委員の会議で、公民館について議論がなされているか。

○事務局

提言依頼として、社会教育行政の運営体制のあり方をお願いしている。公民館の役割、組織、連携の仕方も含まれている。（社会教育主事回答）

○委員

公民館に関する議論があれば、この会議でも情報を適宜提供してほしい。

○委員

谷戸公民館とひばりが丘公民館の適正配置計画での施設のあり方の動きを教えてください。

○事務局

職員の検討会議を6月より開催して、適宜報告していきたい。

○委員

芝久保公民館の第二学習室夜間についての自習室転用について、開始時期を教えてください。

○事務局

8月1日からの予定で進めている。

次回の日程について

平成26年度第3回定例会 6月25日(水曜日) 午後6時30分～ 於:田無公民館 第二学習室